

室蘭市地域コミュニティ交通検討会議

平成23年8月29日設置

● 室蘭市

概要

室蘭市内の公共交通は、都市間移動や通勤通学にJR室蘭本線が利用され、主要な道路には路線バスが運行されているほか、タクシー会社営業所が複数あり、相応の公共交通機関は確保されている。しかし、平地が少なく沢ごとの急傾斜地や高台等に住宅地が形成されてきた本市の地形的特徴から、急勾配の坂道や幅の狭い道路状況により路線バスが運行していない地域、あるいは利用者の減少によりバス路線が廃止された地域など、公共交通不便地域が存在する。

本市の高齢化率は全道平均を上回るペースで増加しており、今後自動車の運転が困難になり日常生活に不便を感じる高齢者の増加が予想されることから、公共交通不便地域のうち「輪西地区」「白鳥台地区」の2地区を先行地区に選び、地域の実情に応じた最適で持続可能な移動手段の導入に向けて、住民ニーズ把握調査や勉強会開催を通じて、具体的手法の検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・JR室蘭本線(室蘭駅、東室蘭駅、ほか計7駅)
- ・道南バス(株)(市内10路線)
- ・スクールバス(8路線、貸切バス事業者に委託)

○地域公共交通の課題

- ・公共交通不便地域の存在
- ・不便地域の実情に応じた持続可能な移動手段の検討
- ・路線バスの利用者減少

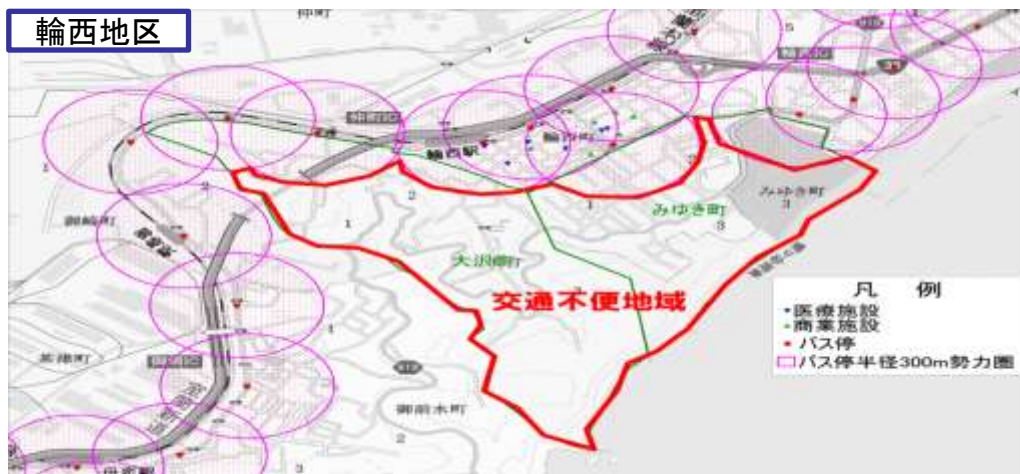
○調査の主な内容

- ・先行地区住民ニーズ把握調査
- ・先行地区住民勉強会
- ・先行地区における具体的手法の検討

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 6月29日 第1回検討会議開催
 - ・諸規程の整備、予算、調査検討業務委託内容等
- 2月20日 第2回検討会議開催
 - ・先行地区の検討経過、H25年度事業内容等

輪西地区



白鳥台地区



室蘭市地域コミュニティ交通検討会議 調査事業の取組状況

●調査事業の結果概要

- ①先行地区住民ニーズ把握調査:市が実施した住民アンケートより、免許や自家用車保有状況、買い物等外出の場所・頻度・移動手段など実態と課題を把握
- ②先行地区交通実態調査:地区内のタクシー会社や送迎車両を有する民間事業者にヒアリング調査を実施し、保有車両の運行状況等を把握
- ③先行地区住民勉強会:町会や商業者・交通事業者・学識経験者等による部会を設置し、各地区3~4回の勉強会を開催
- ④先行地区における具体的手法の検討:地区の交通資源を活用し継続性のある移動手段導入に向けて、平成25年度試験運行を実施

●調査事業実施の適切性

調査事業の各内容について、適切に実施された。

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

先行地区における公共交通不便地域の新たな移動手段導入に向けて、地域内フィーダー系統の運行を検討したが、住民の生活実態やニーズに合致しない、交通事業者の協力が得られない等の理由から実現に至らなかった。代わって、地域の交通資源の有効活用を図り、初期投資等の運行経費を抑え、無理なく継続できる仕組みとして、以下の事業について、平成25年度試験運行を実施し、利用者や地域住民の意見、交通事業者への影響など、試験結果を検証し、本格実施に向けて検討を進める。

【輪西地区】

商店街が主体となり、福祉団体所有の送迎車両の空き時間を使用し、不便地域と地区中心部の商業施設を往復する無料の「おでかけバス」試験運行を実施(H25.5~9月)

【白鳥台地区】

不便地域内を運行するスクールバス(室蘭市が貸切バス事業者に委託)への住民混乗を試験的に実施(H25.5~7月)

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点についてアドバイスする。

・地域内フィーダー等、地域公共交通確保維持事業とは違った形で地域の足を確保することを志向しているが、引き続きモビリティマネジメント等を通じて、地域住民や関係交通事業者との意見調整及び合意形成を図るとともに、既存の公共交通(スクールバス等)との役割分担や乗り継ぎ円滑化に留意されたい。